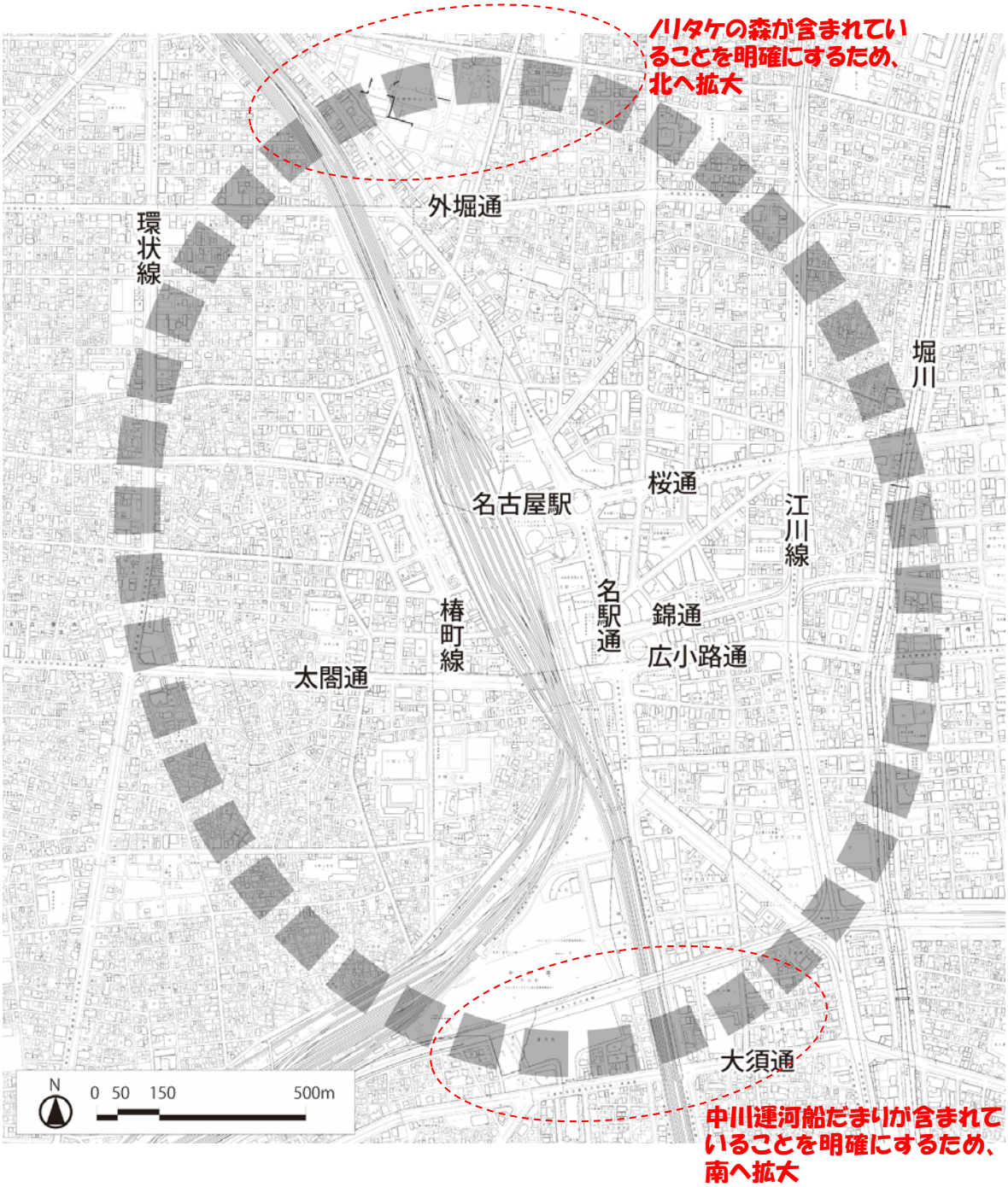
資料２

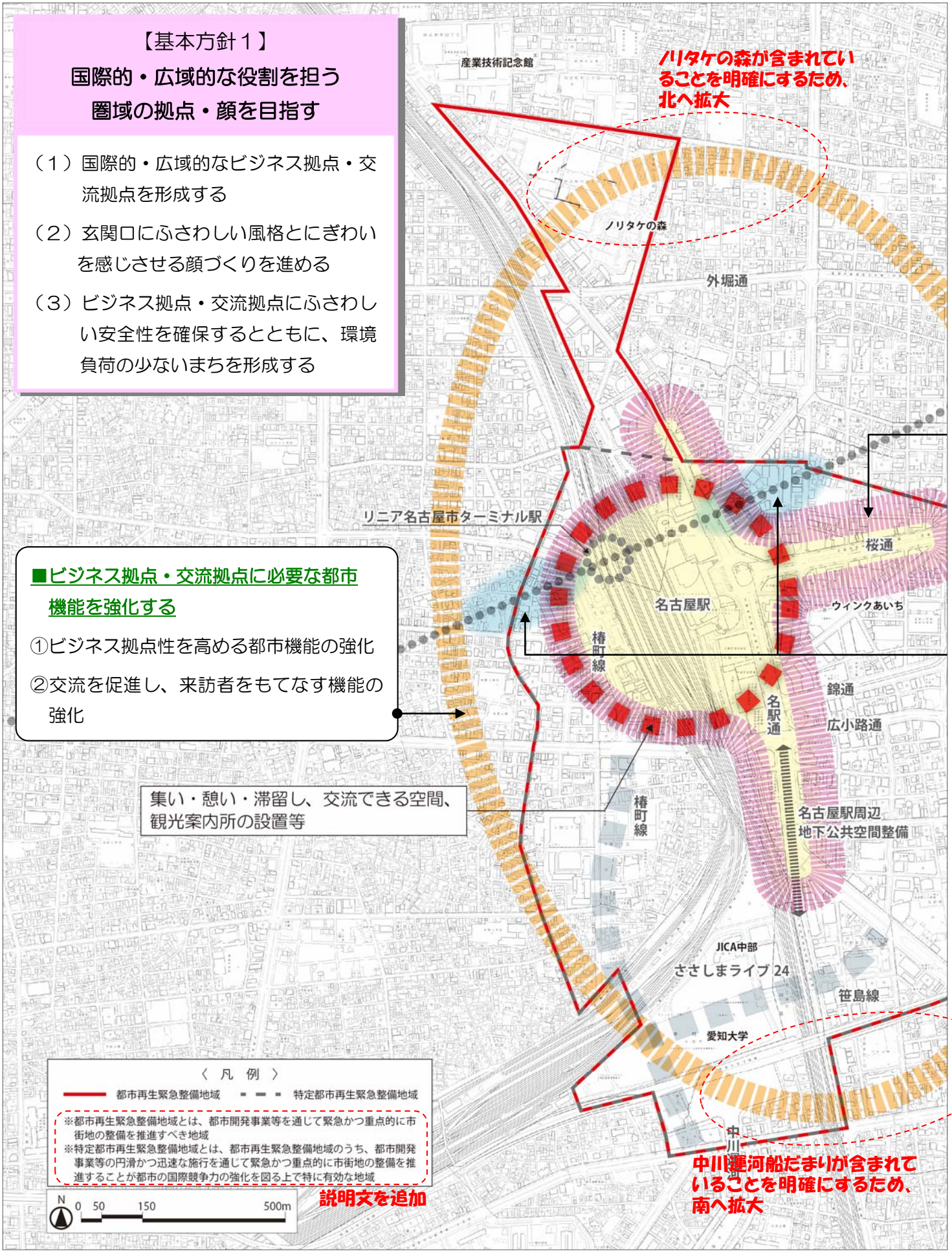
名古屋駅周辺まちづくり構想（案）からの市民意見による修正箇所

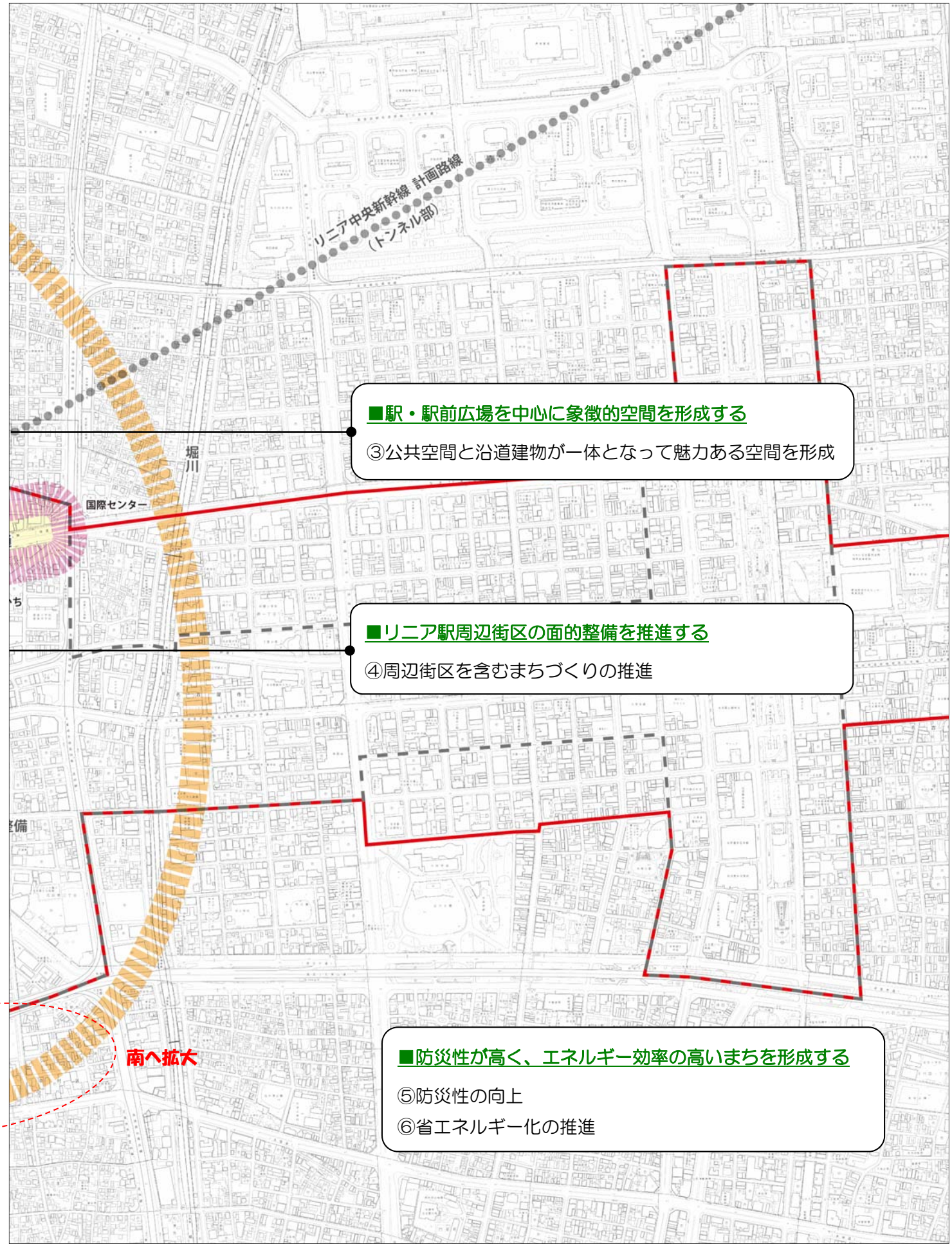
ページ	修正内容
2	・構想の対象範囲について、ノリタケの森や中川運河船だまりが含まれているのが明確になるよう南北を拡大
9-10	・2ページの修正にあわせて、都市機能を強化するエリアの南北を拡大等 ・「集い・憩い・滞留し、交流できる空間、観光案内所の設置等」について、概要版に表示をあわせるため、エリアの色を緑から赤に変更。矢印の指す位置の変更等 ・都市再生緊急整備地域及び特定都市再生緊急整備地域の説明を凡例内に追加
12	・「商業機能」を「商業・文化発信機能」に修正 ・「商業・文化発信機能のイメージ」の説明を修正
13	・2ページの修正にあわせて、都市機能を強化するエリアの南北を拡大等
18	・「ヒートアイランドの緩和」の視点を追加 ・「建築物の省エネルギー化」を「建築物の環境性能向上」に修正。あわせて枠内の文章を修正するとともに、雨水利用を追加
20	・26ページの修正にあわせて、取組みのタイトルの修正
25	・「ストリート駅／リバプール」を「リバプールストリート駅／ロンドン」に修正
26	・取組みのタイトル「自動車交通施設の適切な配置」を「交通施設の適切な配置」に修正 ・交通施設の適切な配置の考え方に「・自転車駐車場は、多様な利用者特性に応じて適切な配置を図る。」を追加
34	・名駅南の状況の説明に、「笹島線の整備が計画されている。」を削除し、「専門学校が立地し、若者が多く見られる。」を追加するなどの修正
36	・名駅南地区の説明の「名古屋駅の直近の利便性などを活かして、駅前を補完する業務施設、共同住宅などが立地したまち」を「名古屋駅直近の利便性を活かすとともに、ささしま地区、納屋橋地区、さらには大須とも連携する商業・業務施設、共同住宅などが立地したまち」に修正
41	・取組みの説明の「の検討を進めます。」を削除し、「について、都心部の公共交通のあり方とあわせて検討していきます。」を追加
43	・推進体制イメージの説明に、「●まちづくり構想の推進について、大所高所からの意見を聴取するため、（仮称）名古屋駅周辺まちづくり推進懇談会を設置し、公開の場で状況を報告することで、あわせて構想の進捗に関する情報発信、プロジェクト間の情報共有を行います。」を追加 ・図に「（仮称）名古屋駅周辺まちづくり推進懇談会」を追加
45	・2ページの修正にあわせて、都市機能を強化するエリアの南北を拡大等

３．構想の対象範囲

・名古屋駅を中心に下図に示す円で囲まれた区域を概ねの対象範囲としています。




【基本方針１】
国際的・広域的な役割を担う
圏域の拠点・顔を目指す
（１）国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する
（２）玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる顔づくりを進める
（３）ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい安全性を確保するとともに、環境負荷の少ないまちを形成する
■ビジネス拠点・交流拠点に必要な都市機能を強化する
①ビジネス拠点性を高める都市機能の強化
②交流を促進し、来訪者をもてなす機能の強化
集い・憩い・滞留し、交流できる空間、観光案内所の設置等
ノリタケの森が含まれていることを明確にするため、北へ拡大
産業技術記念館
ノリタケの森
外堀通
リニア名古屋市ターミナル駅
桜通
名古屋駅
ウィンクあいち
椿町線
錦通
名駅通
広小路通
名古屋駅周辺地下公共空間整備
JICA中部
ささしまライブ24
笹島線
愛知大学
中川
中川運河船だまりが含まれていることを明確にするため、南へ拡大
〈 凡 例 〉
都市再生緊急整備地域
特定都市再生緊急整備地域
※都市再生緊急整備地域とは、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域
※特定都市再生緊急整備地域とは、都市再生緊急整備地域のうち、都市開発事業等の円滑かつ迅速な施行を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進することが都市の国際競争力の強化を図る上で特に有効な地域
説明文を追加
N
0 50 150 500m



■駅・駅前広場を中心に象徴的空間を形成する

③公共空間と沿道建物が一体となって魅力ある空間を形成

■リニア駅周辺街区の面的整備を推進する

④周辺街区を含むまちづくりの推進

■防災性が高く、エネルギー効率の高いまちを形成する

⑤防災性の向上

⑥省エネルギー化の推進

取組み２

交流を促進し、来訪者をもてなす機能の強化

●来訪者が、集い・憩い・滞留し、交流できる空間を駅・駅前広場やその周辺で確保します。
●案内機能、商業・文化発信機能、宿泊機能の立地を進めます。
●都市再生特別地区などの都市計画制度を活用して、都市機能強化に資する民間再開発を進めます。

（集い･憩い･滞留し、交流できる空間のイメージ）

・来訪者が休憩や待合せに利用できる滞留空間
（例）緑陰空間、休憩スペース
・来訪者が交流できる空間
（例）イベント広場

駅前広場周辺などにおけるゆとりある滞留空間のイメージ

（案内機能のイメージ）

・国内外からの来訪者に対して、中部圏をはじめとする国内の観光情報から滞在中に必要な生活情報まで、幅広い情報をワンストップかつ多言語で提供する案内機能
（例）観光案内所の設置・機能強化
・来訪者がどこでも手軽に情報が入手できる環境
（例）無料の公衆無線LANなど情報インフラの整備、まちの魅力や情報を提供する案内サイトの充実

（商業･文化発信機能のイメージ）

・名古屋駅周辺にふさわしい商業・文化発信機能
（例）品揃えの豊富な百貨店、名古屋独自の魅力を提供する地域性・専門性・趣味性を備えた個性的な店舗・施設、文化施設

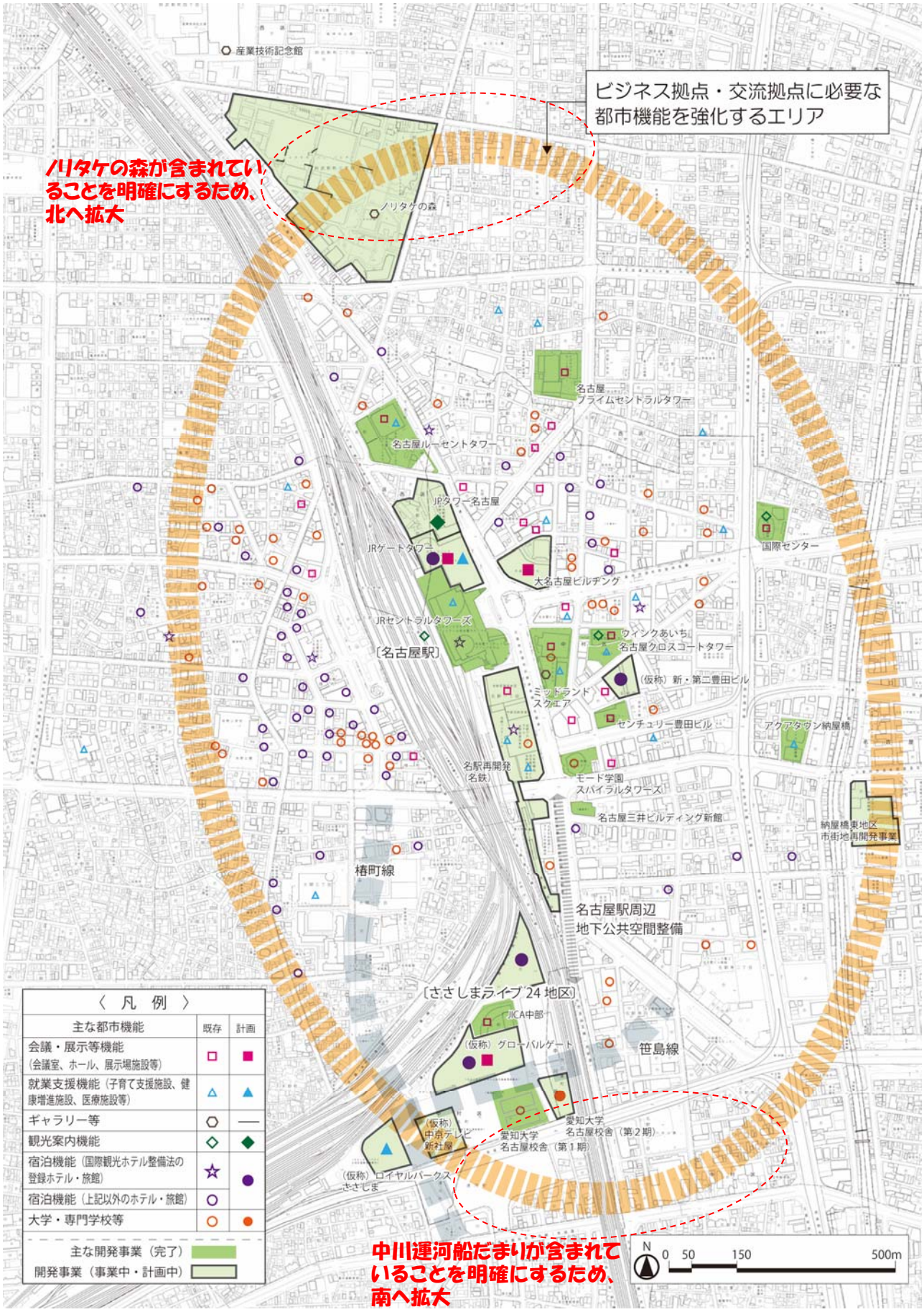
~~・名古屋ならではの魅力を提供する地域性・専門性・趣味性を備えた個性的な物販・飲食店舗や、品揃えの豊富な百貨店など、広域集客力のある商業機能~~

（宿泊機能のイメージ）

・ビジネスや観光など多様な目的の来訪者に、様々なサービスを提供する幅広い価格帯の宿泊施設
（例）国際水準のホテル、手軽なビジネスホテル、サービスアパートメント*、ゲストハウス*

〇サービスアパートメント　フロントサービスやハウスクリーニングサービスなどホテルのようなサービスが受けられる賃貸マンション。通常1か月程度から借りられ、家具家電及び日用品が付属しているのが一般的。
〇ゲストハウス　比較的安価な料金で利用できる、バックパッカーの利用などに主眼を置いた宿泊施設。リビングなどの共同スペースで他の旅行者との交流ができるのが特徴。

◆主な開発事業と都市機能の立地



取組み６

省エネルギー化の推進

●環境性能の高い建築物の整備、エネルギーの面的利用の推進などヒートアイランドの緩和にも資する環境負荷の少ないまちづくりを推進します。

（建築物の~~省エネルギー化~~環境性能向上）

~~省エネルギー化を進める~~

・個々の建築物の環境性能の向上を図る。

（例）高断熱性の外壁・Low-eガラスの採用、昼光制御・人感制御の導入、壁面緑化・屋上緑化、雨水利用などによるCASBEE名古屋*Sクラスの取得

壁面緑化のイメージ
/JPタワー名古屋（計画）

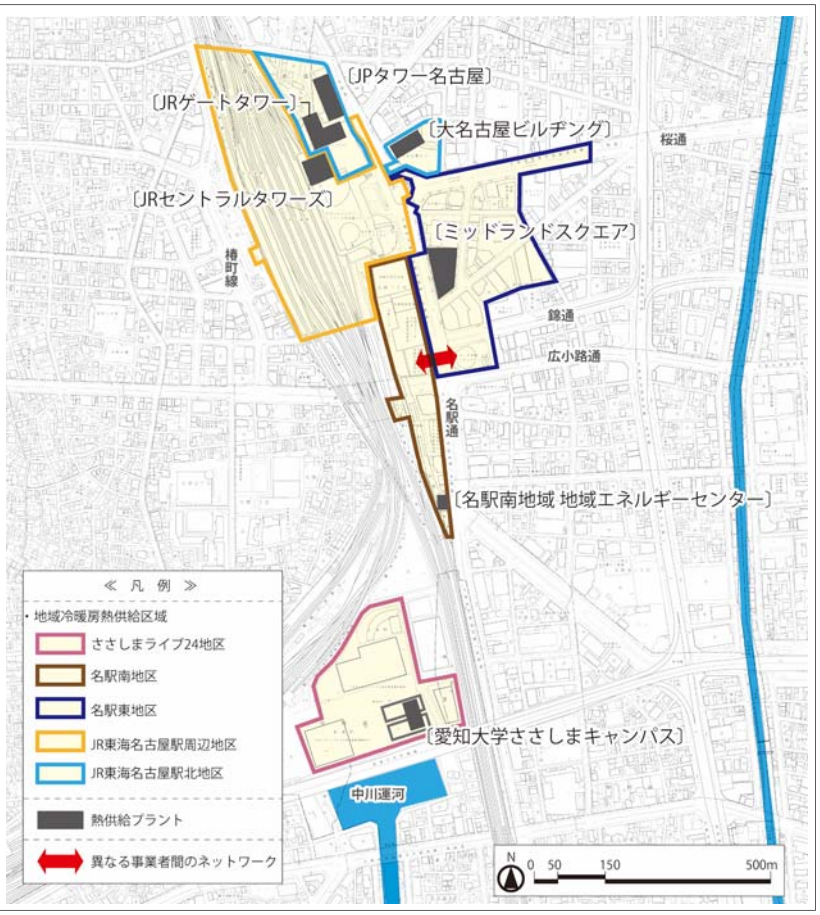
屋上緑化のイメージ
/大名古屋ビルヂング（計画）

（エネルギーの面的利用）

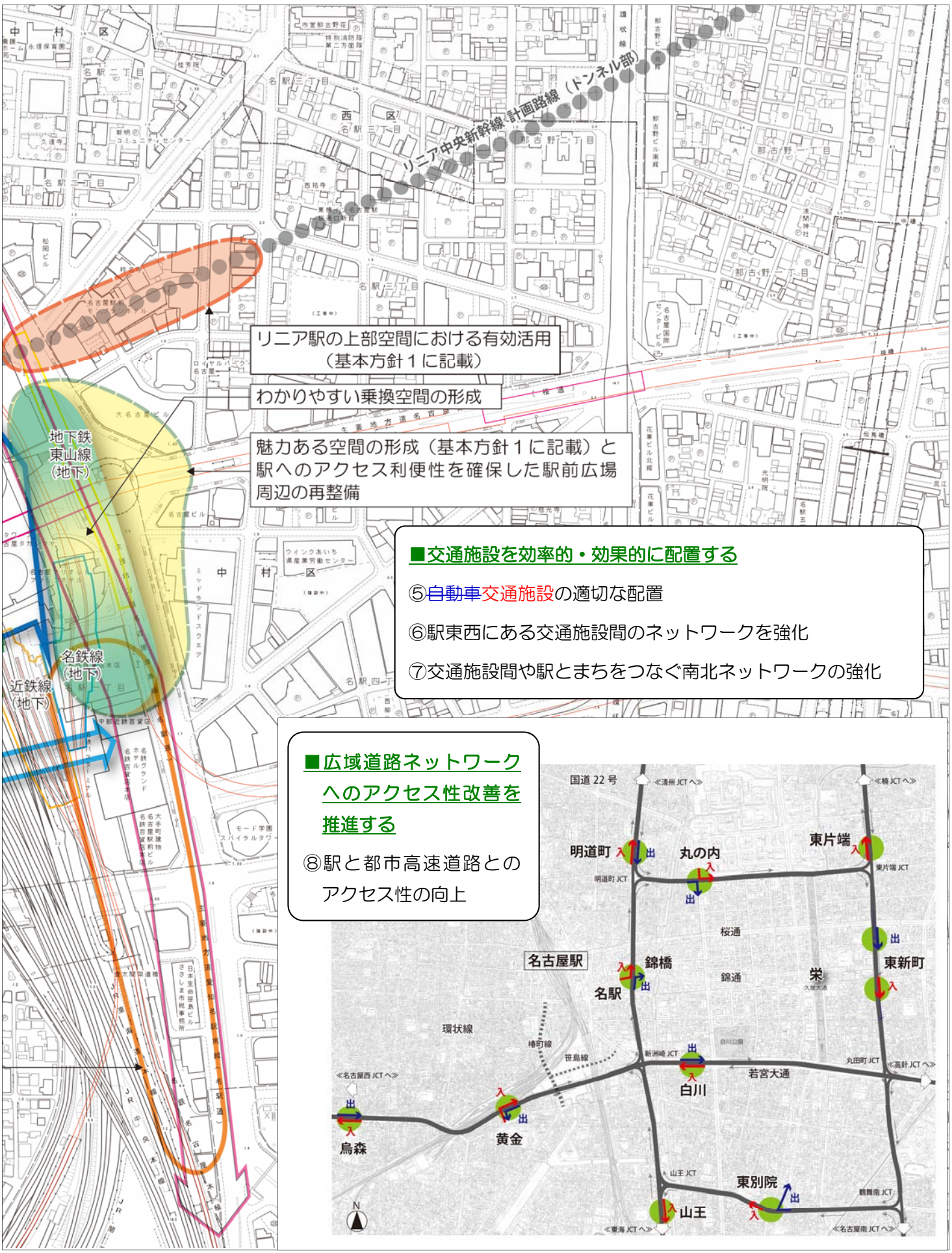
・地域冷暖房の導入とネットワーク化などを推進し、エネルギーの面的利用を推進する。

◆名古屋駅周辺の地域冷暖房ネットワークの状況（概略図）

・名古屋駅周辺では、5つの熱供給事業が行われている。
・名駅南地区と名駅東地区では、異なる事業者間でネットワーク化されている。



○CASBEE 名古屋
「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」とは、環境性能で建築物を評価し格付けする手法。「CASBEE 名古屋」は、室内環境などの環境品質と、エネルギー、資源、CO_2などの環境負荷について評価を行うもので、S、A、B＋、B－、C の5つのランクに格付けされる。


リニア中央新幹線（計画路線）（トンネル部）
リニア駅の上部空間における有効活用
（基本方針１に記載）
わかりやすい乗換空間の形成
魅力ある空間の形成（基本方針１に記載）と
駅へのアクセス利便性を確保した駅前広場
周辺の再整備
地下鉄
東山線
（地下）
名鉄線
（地下）
近鉄線
（地下）
■交通施設を効率的・効果的に配置する
⑤自動車交通施設の適切な配置
⑥駅東西にある交通施設間のネットワークを強化
⑦交通施設間や駅とまちをつなぐ南北ネットワークの強化
■広域道路ネットワークへのアクセス性改善を推進する
⑧駅と都市高速道路とのアクセス性の向上
国道 22 号
明道町
丸の内
東片端
桜通
名古屋駅
錦橋
名駅
錦通
栄
東新町
環状線
若宮大通
白川
黄金
烏森
東別院
山王

取組み４

乗換を支える案内サインの充実

●国内外からの来訪者を円滑に誘導するとともに、的確な情報提供を行うため、案内サインの充実を図ります。

（案内サイン充実の考え方）

・統一的なデザインや適切な配置、必要に応じた多言語表記などにより、利用者にとってより一層わかりやすく、見えやすい表示とする。

案内サインの例

~~ストリート駅/リバプール~~
リバプールストリート駅/ロンドン

成田空港

小倉駅

交通施設を効率的・効果的に配置する

取組み５

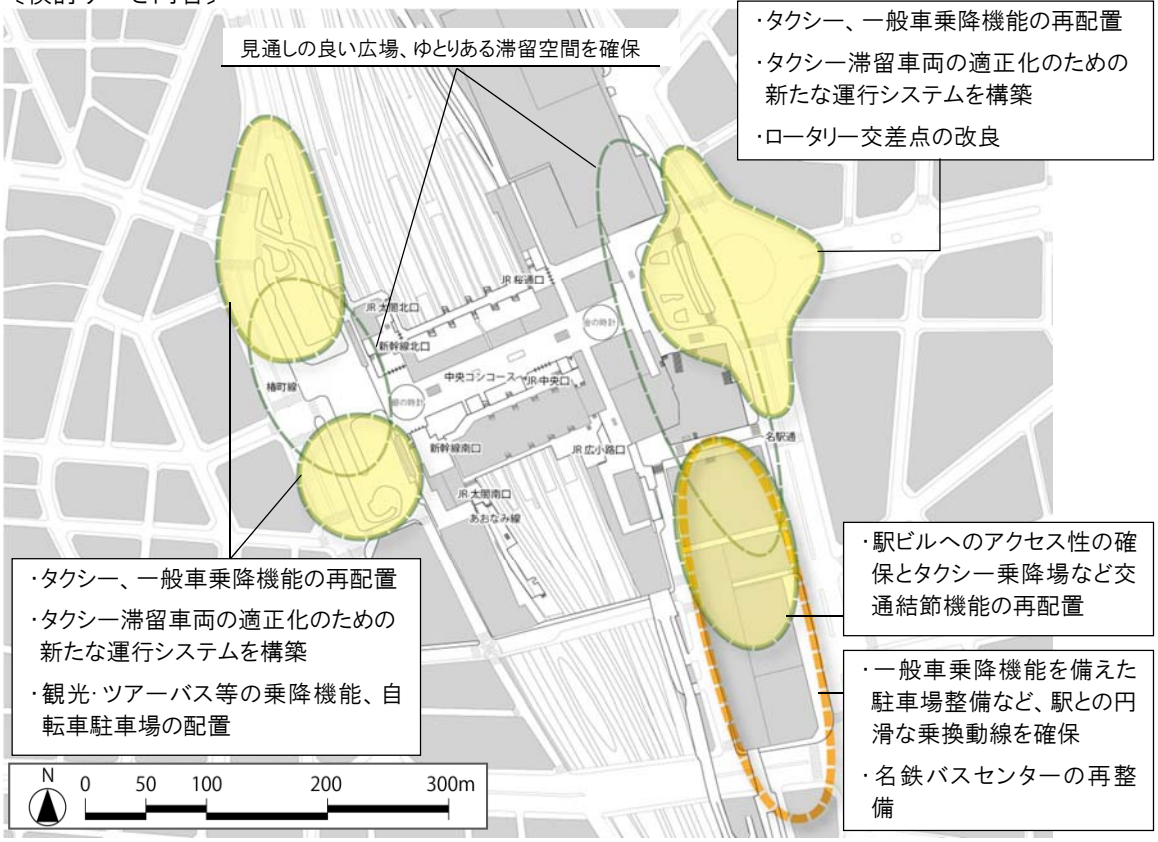
自動車交通施設の適切な配置

●駅東西での利用実態やリニア計画等を踏まえて、駅へのアクセス性を確保し、必要な機能を効率的かつ効果的に配置した駅前広場周辺の再整備を行います。

（交通施設の適切な配置の考え方）

- 駅前広場周辺の再整備においてタクシー乗降機能や一般車乗降機能は、鉄道やバス等との乗換利便性の確保、路上での乗降利用や車両滞留の抑制のため、適切に配置する。
- バスの種別や運行実態などを考慮したわかりやすい施設配置を図る。
- 自動車交通は駅と都心部とのスムーズなアクセスを確保する。
- 自転車駐車場は、多様な利用者特性に応じて適切な配置を図る。

〔検討すべき内容〕



〔調整事項〕タクシー等滞留機能の確保、荷捌き施設の移設先の確保、駐車場設備等の移設先の確保、道路空間再配分による自動車交通への影響検証、リニア計画との整合、名鉄名駅再開発計画との整合、名鉄名古屋駅北口改札機能の再配置、通過交通抑制の具体的方法

地域資源	写真	状況
産業技術記念館		名古屋駅直近でものづくり文化に触れられる施設である。産業技術記念館は赤レンガの工場を保存・活用しており、ノリタケの森は緑豊かな環境と憩いの空間、産業観光等の機能を維持しつつ、工場跡地を活用した開発が検討されている。 産業技術記念館：名古屋市都市景観重要建築物指定
ノリタケの森		
円頓寺商店街		歴史が深く趣と温かみがある下町情緒を残す商店街であり、近年、個性的な飲食店が増えている。
四間道		清須越によってつくられた商人町であり、土蔵群と町家からなる街並みが今も残っており、土蔵を利用した店舗などが増えている。
名駅三丁目周辺		古民家を活用した飲食店が多く立地し、特徴的な景観とにぎわいを形成している。
柳橋市場界隈		都心部にある全国最大級の規模を誇る民間市場として、この地域の食文化を支えている一方、建物の老朽化や店舗数の減少が見られる。
椿町周辺		専門学校などの教育施設、サブカルチャーの店舗、多国籍な飲食店が多く立地しており、にぎわいと活力のある地区となっている。
納屋橋・堀川		都心部における貴重な水面であり、歴史的建造物である納屋橋を中心に趣のある景観を形成している。納屋橋東地区において市街地再開発事業が行われている。
名駅南		流通業務系の土地利用がなされて~~きたが~~おり、~~近年、~~大規模な低未利用地が~~見られる~~残されている。~~笹島線の整備が計画されている。~~専門学校が立地し、若者が多く見られる。
ささしまライブ24		「国際歓迎・交流の拠点」の形成を目指し、国際交流施設・ホテル・コンベンション施設・大学等の立地が進められている。

【ターミナル地区】

・ターミナル機能に加え、業務機能、交流機能など、交通利便性を活かした多様な都市機能が高度に集積した名古屋の玄関口

【名駅二・三・四丁目地区】

・業務施設とそれを支える飲食・娯楽施設が共存するまち

・柳橋市場周辺は、市場機能を活かしながら建物更新を進め、周辺の商業・業務施設と調和したまち

【椿町地区】

・名古屋駅直近の利便性に加え、若者文化や国際性豊かな地域特性を活かした商業施設や教育施設などが立地したまち

【則武新町地区】

・ものづくり文化・歴史資産を活かした産業観光施設、豊かな緑の環境を備えたにぎわい施設、都心居住を促進する共同住宅などが立地した都市拠点

【那古野地区】

・名古屋駅と名古屋城の中間に位置する特性を活かしながら、歴史的な風情や堀川とのつながりを大切にし、ものづくり文化を継承する企業、商業施設、共同住宅、戸建住宅が調和したまち

【納屋橋地区】

・堀川沿いを中心に商業・業務施設と共同住宅が調和したにぎわいのあるまち

【名駅南地区】

・大規模な低未利用地の利用を進め、名古屋駅直近の利便性~~など~~を活か~~して~~すとともに、~~駅前を補完する~~ささしま地区、納屋橋地区、さらには大須とも連携する商業・業務施設、共同住宅などが立地したまち

【亀島・則武地区】

・名古屋駅に近接する利便性を活かした共同住宅、戸建住宅と、生活を支える商業施設などが立地したまち

【太閤地区】

・幹線道路沿道を中心に立地する商業・業務施設と共同住宅・戸建住宅などが調和したまち

【米野地区】

・戸建住宅を中心とする、防災性や居住環境の改善が進んだ生活利便性の高いまち

【ささしま地区】

・国際交流施設・ホテル・コンベンション施設・大学などが立地するとともに、親水空間や公園が整備され、国内外からの来訪者や市民でにぎわう国際歓迎・交流の拠点

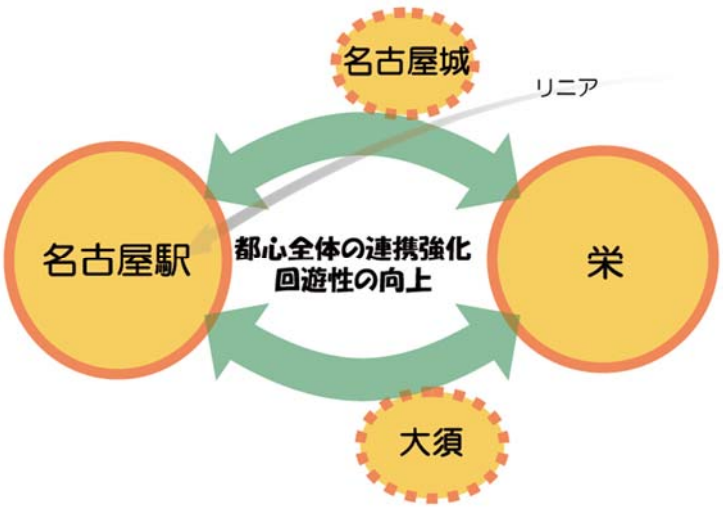
栄、名古屋城などとの連携を強化する

取組み４

新たな交通手段の導入を検討

●まちの回遊性やにぎわいの向上、都心全体の連携強化を目指して、リニアで訪れた人が名古屋のまちを見ながら移動できる、最新の技術を取り入れたLRT*やBRT*などの新たな路面公共交通システム導入~~の検討を進め~~について、都心部の公共交通のあり方とあわせて検討していきます。

（LRT･BRTの導入の考え方）



（オーストラリア、メルボルン市）
出典：LRT-次世代型路面電車とまちづくり

（ブラジル、クリチバ市）
出典：Carlos Restrepo

◆名古屋市で先進的に導入した交通システムの事例

中央走行方式の基幹バス
（昭和60年運行開始）

ガイドウェイバス
（平成13年開業）

リニモ
（平成17年開業）

○LRT（Light Rail Transit）　低床式車両の活用や軌道･電停の改良による乗降の容易性･定時性･速達性･快適性などの面で優れた特徴を有する次世代型路面電車システム。

○BRT（Bus Rapid Transit）　輸送力の大きなバスの投入、バス専用レーン、公共車両輸送システム等を組み合わせた高次のサービス機能を備えたバスシステム。

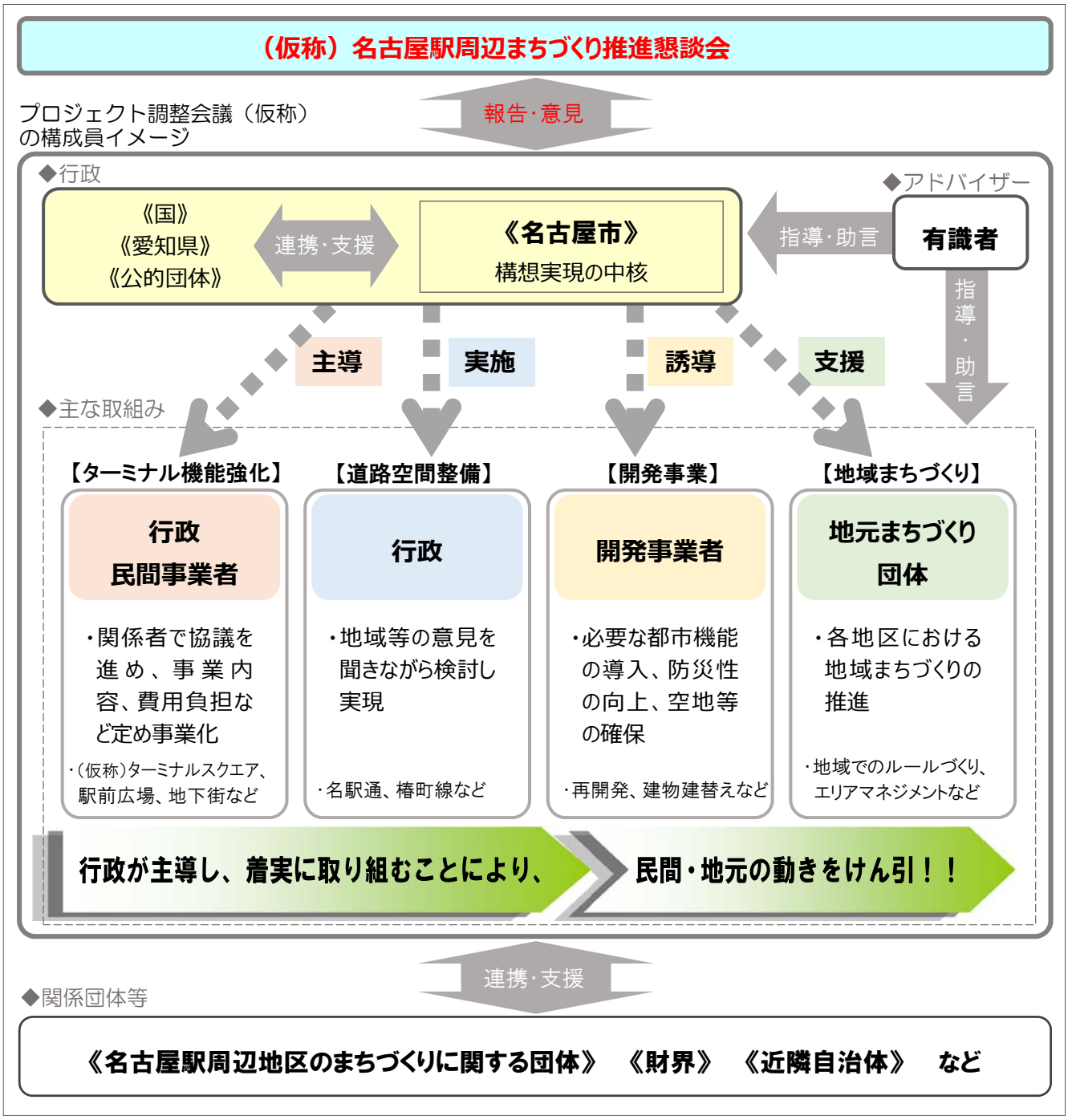
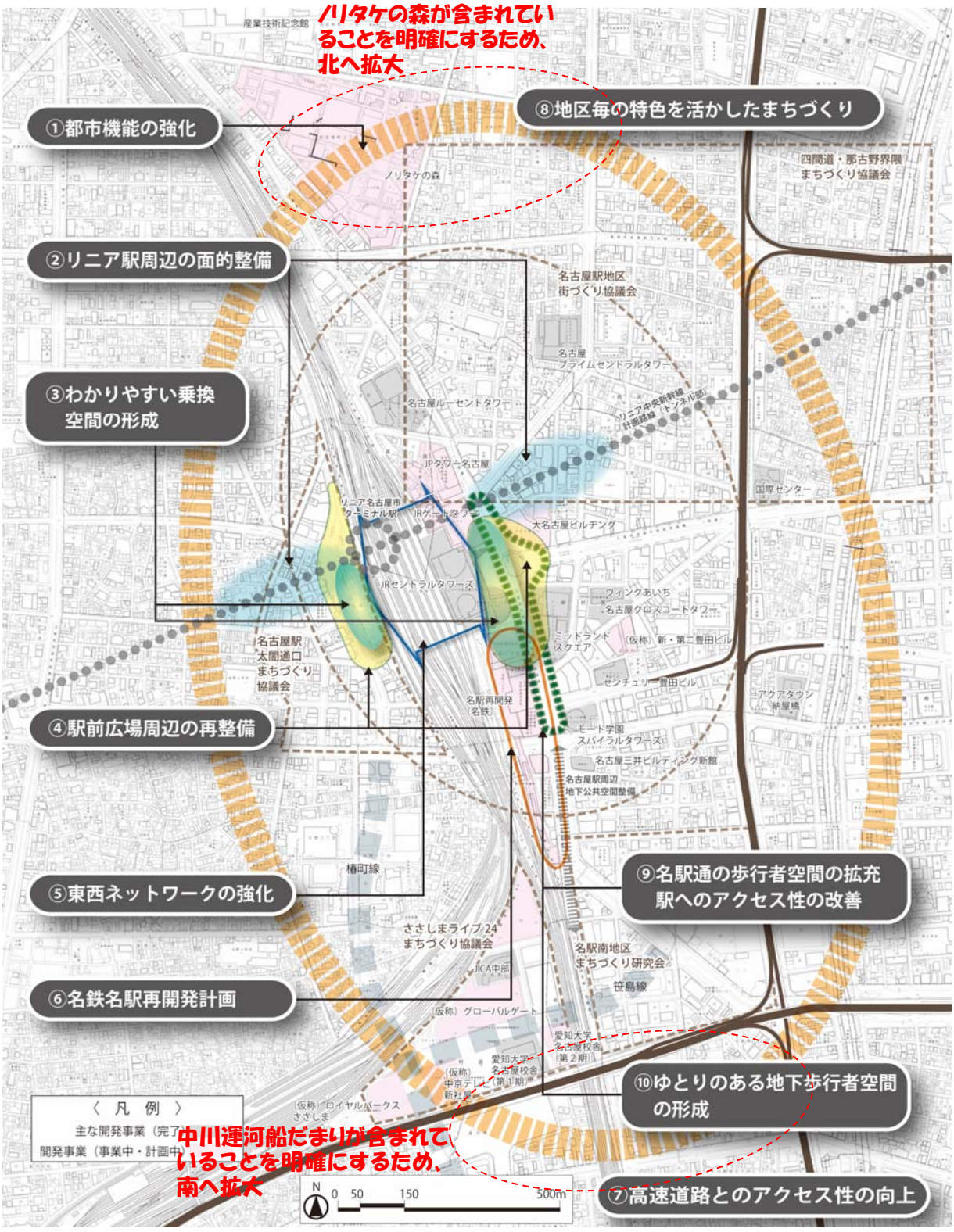
（推進体制イメージ）

●まちづくり構想の推進について、大所高所からの意見を聴取するため、（仮称）名古屋駅周辺まちづくり推進懇談会を設置し、公開の場で状況を報告することで、あわせて構想の進捗に関する情報発信、プロジェクト間の情報共有を行います。

●プロジェクト調整会議（仮称）は、名古屋駅周辺地区のまちづくりの関係者を構成員とし、取組み毎に必要なメンバーの参画のもと、調整・協議を進めます。

●名古屋市は構想実現の中核として国や愛知県などと連携し、それぞれの取組みに対して主導、実施、誘導、支援という役割を担っていきます。

●ターミナル機能強化などを行政が主導し、着実に取り組んでいくことにより、民間や地元の動きをけん引していきます。



2．主要プロジェクトのスケジュールイメージ